

日付	講師名	タイトル	プロフィール
2021/4/28	秋吉 恵	NPO法人田舎のヒロインズのビジョンを再確認するワークショップ	北海道大学獣医学部卒業後、1991年より味の素株式会社中央研究所にて薬理研究に従事。1998年に退職後、インドNGOにて獣医師として働き、帰国後、国際協力NGOにて実務に携わりながら、日本福祉大学国際社会開発研究科博士課程を修了。在学中に出産。博士号取得後、2010年より早稲田大学ボランティアセンター教員、2016年から現職。南アジアと日本の農山漁村における社会福祉開発をテーマに研究と実践、教育を続ける。妻（嫁）、母親、地域住民としての役割と研究・教育との両立に悩みつつ、その経験に支えられてもいる。
2021/5/26	末松広行	時代の変化と日本の農業のこれから	農林水産省を中心として、総理官邸、経済産業省、長崎県諫早市等で勤務。元農水事務次官。この間、東京農業大学非常勤講師、客員教授を務める。2020年8月に退官。2021年1月より現職。
2021/6/22	中村陽一	NPOの組織づくりと運営について Q&A	立教大学 法学部 法学科 教授 社会デザイン・ビジネストラボ会長。社会デザイン学会会長。NPO法人やソーシャルビジネスの運営サポート等、現場と大学院を往復しつつ実践的研究、政策提言等に取り組む。ニッポン放送「おしゃべりラボ〜しあわせSocial Design」パーソナリティ。ジャズライブでのリーディングや演劇プロデュースなど幅広い活動も行う。専門分野は、「社会デザイン学」「ソーシャルビジネス」「コミュニティーデザイン」「NPO/市民活動論」ほか。
2021/7/21	加藤めぐみ	プロジェクト・マネジメントとは	京都大学大学院農学研究科修士後、日本イーライリリー株式会社にて医薬品開発に従事し、現在は糖尿病領域のプロジェクト・マネジメント担当。途中2年間は仕事を離れ、慶應義塾大学大学院経営管理研究科（KBS）にて学ぶ。KBS在学中に長男を出産し、2005年修士後復職し現在に至る。フルタイムで共働きをしながら子育てをするという時間的制約がある中、家庭を家族の望む形にマネジメントするためにKBSで学んだ思考やスキルが有用だと考え、「家庭のマネジメント」を研究テーマとして選び、2017年システムデザイン・マネジメント研究科に入学、2019年3月修了。
2021/8/25	haru.	多様化する社会に生きる若者への伝え方。	アーティストのマネジメントとコンテンツプロデュースを行うハグを設立して取締役に就任。インスタグラムでは4.7万フォロワーを抱え、若者を中心に支持を集める
2021/9/29	和泉真理	ヨーロッパの美しい農村風景からこれからの日本の農業を考える	社団法人日本協同組合連携機構（JCA）客員研究員。東北大学農学部卒業。英国オックスフォード大学修士課程修了。農林水産省勤務を経て現職。
2021/10/29	廣林花音 橋本佳奈	生きる 20代女子から見る農業・農村の魅力とは 生きる 20代女子から見る農業・農村の魅力とは	慶應義塾大学総合政策学科在学。富山県射水市生まれ。慶應義塾大学総合政策学部3年生。 コロナの影響でキャンパスには通えないが、場所に限られない学びの環境を生かし、「休学しない農村留学」をしながら、オンラインで大学に通う生活をしている。2021年の4月に熊本県（南阿蘇）をスタートし、田舎のヒロインズの理事メンバーの元を中心に、全国各地の農家さんの農繁期を電気自動車で旅をしながら、山形（村山市）、北海道（士別市）、福井（あわら市）を巡った。 「百姓」に憧れる25歳。大学卒業後、日系金融会社で1年間勤めるも、農業・食の分野に携わりたいという強い思いから会社を辞め、南阿蘇村に移る。南阿蘇村では田舎のヒロインズ理事長の天津愛梨が経営するコメ農家の他、多品目栽培を行う農園、老舗温泉旅館、など多くの事業者の手伝いをしながら、農村での新しいワークスタイルを確立しようと模索中の毎日。9月下旬より南阿蘇村でおみそする屋さんをオープン。自家栽培大豆を使った味噌づくりワークショップなどを計画中。
2021/11/24	山中大介	ヤマガタデザインから考える地域活性化とは	株式会社 ヤマガタデザイン 課題を解決する事業をデザインすることで、地方都市の凡ゆる課題は未来への希望に変えることができる。2014年ヤマガタデザイン株式会社を設立。地域と全国から資本調達(34億円)し、山形市内から全国にも展開可能な課題解決のモデルづくりに挑む。田んぼに浮かぶ水造ホテル「SUIDEN TERRASSE(スイデンテラス)」、天性重視個性伸長の教育施設「KIDS DOME SORA(キッズドームソライ)」、人材紹介ポータルメディア「ショウナイズカン」、有機農業プラットフォーム「SHONAI ROOTS(ショウナールーツ)」、農業経営者育成学校「SEADS(シーズ)」、農業ロボット開発「有機米デザイン」などの街づくり事業を手掛ける。
2021/12/22	大塚浩司	山岳レース開催による自然活用と地域活性化	大塚 浩司氏(株)Nature Scene代表取締役 長野を拠点に様々なアウトドアプログラムを企画、全てのアウトドアフィールドを利用して四季折々の自然の楽しみ方を提案。特にトレイルランニング業界の発展に力を入れており自身でもプロアスリートとして、月に一度レースに参加する傍ら、国内で現在14レースを運営。
2022/1/26	前田典彦	「自然災害や被害だけじゃない！情報化時代の新たな脅威に備える【サイバーセキュリティ】農業編」	協会株式会社FFRIセキュリティ 社長室長、また同社のCSIRTのPoC(日本シーサート協議会加盟)。エバンジェリストとしてサイバーセキュリティ関連情報の発信や普及啓発活動を行う。UNIXサーバ及びネットワークの構築運用エンジニア業務を約10年経験した後、セキュリティ業界に転身。ウイルス対策ソフトウェアメーカーにて12.5年間調査研究業務・エバンジェリスト活動を経て、2019年7月に株式会社FFRIセキュリティに入社。日本ネットワーク協会(INS) 幹事・調査研究部会長など、社外NPO法人や各種団体でも活動中。早稲田大学政治経済学部卒
2022/2/23	高橋大樹	ゼロになった町から、日本で一番のワクワクを。全町避難の町へ移住した元外務官僚の挑戦。	1999年に外務省へ入省。日米安全保障問題や日米通商問題を担当した後、2008年に外資系コンサルティング企業へ転職。2011年、東日本大震災の直後から東北支援のNPOへ参画。同年5月、一般社団法人東の食の会の立ち上げに関わり、同会の事務局代表に就任。その後、コンサルティング企業を退社し、オイシックス株式会社海外事業部長（執行役員）に就任。2020年、一般社団法人NoMAラボを設立し、代表理事へ就任。2021年4月より福島県・浪江町へ移住し、まちづくりに関わる。
2022/3/23	荻田泰永	日本唯一の北極冒険家が開く本屋「冒険研究所書店」	日本唯一の「北極冒険家」。カナダ北極圏やグリーンランド、北極海を中心に主に単独徒歩による冒険行を実施。2000年より2019年までの20年間に16回の北極行を経験し、北極圏各地をおよそ10,000km移動してきた。世界有数の北極冒険キャリアを持ち、国内外のメディアからも注目される。